

令和5年度桜丘中学校 学校評価の実施状況

学校教育自己診断の結果と分析
①実施時期〔令和5年11月〕 ②対象〔生徒・保護者・教職員〕 ③結果から特記すべき事項 ※次の各項目の肯定的回答率が増加した（昨年度→今年度） ・『授業でよくタブレットを使っている』（76%→96%） ・『学校はタブレット等のICT機器を使ったわかりやすい授業を行っている』（63%→87%） ・『先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれる』（89%→95%） ④1月中に学校教育自己診断の結果について全教職員が考察し、学校自己評価を行った

学校関係者評価委員会の運用状況

学校評議員及び保護者からの意見内容等
<日時 令和6年2月2日> ■協議会形式 □個別 ○学校評議員1名 ○保護者1名 ○意見を求めた事項 ・全国学力・学習状況調査の報告 ・学校教育自己診断（生徒・保護者・教員）の各集計結果についての報告 ・学校自己評価についての報告 ・今年度の学校運営の取り組み報告 ○意見の概要 ・令和5年度の学校運営については、おおむね良好と評価する。 ・来年度教職員数の減少が懸念されるとのことだが、プラス思考で取組を継続してほしい。 ・今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も子どもに寄り添った生徒指導と、授業の充実を望む。 ・朝食の喫食率の低さが際立っており、実態把握が必要と思われる。

次年度に向けて

項目	内容	改善策
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ●授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実現 ●「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実 ●進路指導、キャリア教育の充実 ●教職員研修（各種職務研、校内研）への積極的な取り組みと教科会充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師主体の一斉授業からの脱却 ・単元計画の作成、授業での課題提示と仕掛けづくり ・教職員による家庭学習点検の時間確保 ・進路指導に関わる教員の育成 ・外部講師招聘と授業参観シート全員提出
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ●道徳教育、人権教育の充実 ●困っている子どもの支援体制 ●支援教育の充実 ●いじめ対応 ●不登校対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育のコーディネート ・保護者との良好な関係作り ・障がいの状況に応じた適切な教育課程の編成と実施 ・勤務時間内での電話連絡や家庭訪問の検討 ・不登校対応に当たる教職員以外の人材発掘
教職員その他	<ul style="list-style-type: none"> ●服務規律の徹底 ●業務改善 ●学校運営への参画意識と同僚性向上 ●学びを支える教育環境 ●安全教育の推進 ●カリキュラムマネジメントの確立 ●学校・家庭・地域の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・服務研修の継続と教職員の心身の状況把握 ・休日のクラブ活動に関する枚方市の進行状況把握 ・クラブ成立条件の見直しの周知と対応 ・教職員の規範意識の向上とモデル教職員の育成 ・生徒が安全にタブレット端末を活用できるよう配慮 ・防災、防犯についての訓練等を確実に実施 ・「総合的な学習の時間」の主担当者を明確にする ・学校外への協力のスリム化と充実